

**製品名: ARF4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07099**

研究使用のみ

**概要**

|        |                                                    |
|--------|----------------------------------------------------|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ                                                |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス                                         |
| 標識     | 非共役                                                |
| 修飾     | 未修正                                                |
| アイソタイプ | IgG                                                |
| クローン性  | ポリクローナル                                            |
| 形態     | 液体                                                 |
| 濃度     | 1mg/ml                                             |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋                                                 |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製                                          |

**応用**

|      |                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量  | 25kDa                                                                   |

**抗原情報**

|              |                                               |
|--------------|-----------------------------------------------|
| 遺伝子名         | ARF4                                          |
| 別名           | ARF4; ARF2; ADP-ribosylation factor 4         |
| 遺伝子 ID       | 378.0                                         |
| SwissProt ID | P18085                                        |
| 免疫原          | 抗血清はヒト ARF4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120 |

**背景**

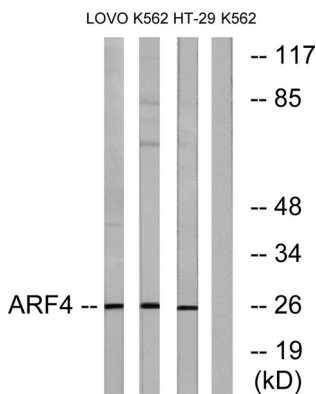
ADP リボシル化因子 4 (ARF4) Homo sapiens この遺伝子はヒト ARF 遺伝子ファミリーのメンバーであり、そのメンバーはコレラ毒素の ADP リボシルトランスフェラーゼ活性を刺激し、小胞輸送およびホスホリパーゼ D の活性化因子として役割を果たす小さなグア

ニヌクレオチド結合タンパク質をコードしています。遺伝子産物には 5 つの ARF タンパク質と 11 の ARF 様タンパク質が含まれ、RAS スーパーファミリーの 1 つのファミリーを構成しています。ARF タンパク質は、クラス I、クラス II、クラス III に分類され、この遺伝子はクラス II のメンバーです。各クラスのメンバーは、共通の遺伝子構成を共有しています。ARF4 遺伝子は約 12kb に及び、6 つのエクソンと 5 つのイントロンを含みます。この遺伝子は、ヒト ARF の中で最も多様なメンバーです。この遺伝子については、3p14 または 3p21 で競合するマップ位置が報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月];注意:当初は ARF2 と考えられていました。機能: コレラ毒素触媒サブユニット (ADP-リボシルトランスフェラーゼ) のアロステリック活性化因子として機能する GTP 結合タンパク質。タンパク質輸送に関与し、ゴルジ体における小胞の出芽および脱殻を調節する可能性がある。類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。ARF ファミリー。

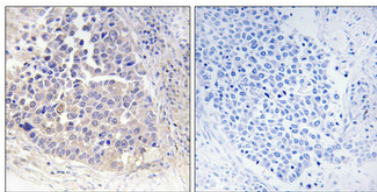
## 研究分野

幹細胞経路

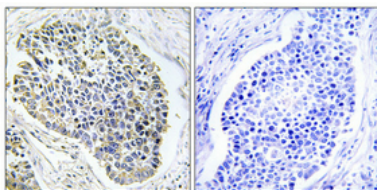
## 画像データ



ARF4 抗体を用いた LOVO 細胞、K562 細胞、HT-29 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。